

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 6/15 第10号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

修学旅行の作文

3年生が書いた修学旅行についての作文をいくつか抜粋して紹介します。どの作文を読んでも思い出に残る修学旅行だったと感じられます。

3年2組 男子

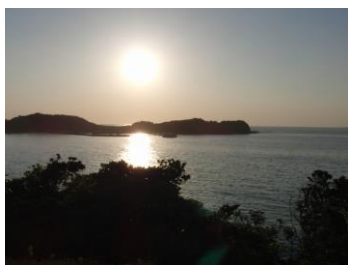
僕は、3年生になった時から修学旅行が楽しみだった。今までの修学旅行は沖縄だったけど、今年からは壱岐に行くのでくわしい情報はまだ、あまりなかった。だから少し、不安な部分もあった。でも授業で壱岐について調べていくうちにその不安がなくなり、ますます楽しみになった。……

3日目の別れるときになるとたった3日間しか暮らしていなかったのにさびしかった。それだけ充実した生活ができたのだと思う。門司港レトロでは、壱岐とはまた違う町並みを見られたので楽しめた。

この3日間の修学旅行でクラスメイトの普段とは違う一面が見られたりして、クラスの絆や団結力とかがより深まったと思う。これから、体育大会、球技大会、合唱コンクールとかあるので、全て最高の思い出にして、卒業できるようにがんばる！



3年3組 女子



壱岐の島に着いたとたん、いろいろとあせりました。空がきれい、土地、緑がきれい、特に！！海はきれいすぎて周りのみんなも誰もがきれいとおつづやいていました。白い砂浜が海と空を大いに青くさせて、そんな中で泳げたのは一生の思い出です。マリン体験でビスケットボードは楽しすぎました。本当言えば少し怖そうだなあと考えていたけど楽しかったです。女子3人で「ギャーッ」と叫んでいて日々のことを忘れしました。バナナボートはやばすぎて、すごすぎて絶叫でした。一番後ろは水

がかりにくく、景色がよく見えると聞いていたけど全然かかるし、気持ちよいし叫ぶんじゃなくて笑ってました。バナナボートからの景色は地上から見るできない特別な景色で、今までで一番きれいな海が見られた！と思いました。

3年4組 男子

修学旅行は長崎県の壱岐島に行った。双岡病院前からバスで京都駅まで行き、そこから新幹線で博多駅へ、博多駅から博多港へ行き、そこからジェットfoilで壱岐島へ行く3日間の旅だった。……

この修学旅行は、クラスの仲がとても深まるものになったと思う。3日間、協力し合ったり楽しみ合ったり普段あまり関わらない人とも会話してとてもクラスがよい感じになった。壱岐の人々は色々教えてくれて感謝している。乙島荘の人はホテルを見せてもらったり、すごくおいしい食事をいただいたりとてもいい思いをさせてもらえた。とにかくこの旅に関わってくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。この旅は忘れられない思い出になるにちがいない。

